



榛東村立北小学校

5年算数の授業実践を紹介します！

中部教育事務所
学校教育係指導担当

2022年2月発行

<授業のポイント>

教師の①問題提示の工夫と②考え・表現させるための数直線図の活用で、児童が「1単位量あたりにそろえる」よさを追究していました。

この授業（単位量あたりの大きさ：速さ）で育成したい資質・能力

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

○速さにおける単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。

○時間と距離の関係を割合として捉えられることに着目し、数直線図を使って速さの比べ方を考察している。

○速さも単位量あたりの大きさと比べられる過程を振り返り、日常的な問題に生かそうとしている。

<本時のねらい>

授業のねらい 数直線図を活用して1秒あたりや1mあたりにそろえる活動を通して、速さの比べ方を考えることができる。

<ポイント① ~問題提示の工夫~ >

☆①導入（問題提示からのやりとり）の場面

	時間(秒)	
弟	16	
えみ	18	

T: 弟とえみさんはどちらが速いの?
C1: 弟! C2: これだけではわからないよ

	時間(秒)	きょり(m)
弟	16	
えみ	18	

T: あと何がわかればいいかな?
C3: 二人が何m走ったかがわかれば・・・
T: 何mだといいですか?
C4: 50m C5: 100m C6: 1m

	時間(秒)	きょり(m)
弟	16	80
えみ	18	100

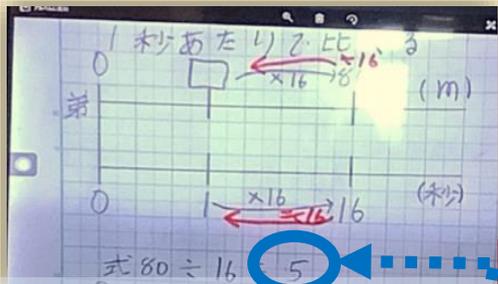
T: 実は・・・弟は80mでえみさんは100mです。このままでどちらが速いか比べられるかな?
C7: 1秒や1mにそろえれば比べられると思います。
T: みんなならどっちを使って考えたいですか?

左の写真のように、表の右側の言葉や数を隠し、少しずつ見せながら、「異なるもう一つの数量の必要性」や「比べるためには1単位量あたりにそろえる」という見方・考え方を引き出していました。

※このようなやりとりができるコツは、表の右側を少しずつ見せた時の子供の反応を十分に予想し、どのように問い返すかを考えておくことです。

<ポイント② ~数直線図の活用~ >

☆②追究（数直線図を活用して表現させる）の場面

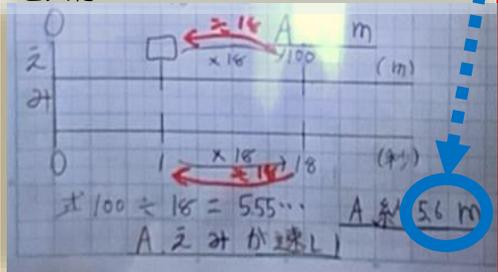


T: どうやって求めたかな?
C8: 80 ÷ 16 をしました。

T: 何でその式になったのか、説明できるかな?

※この2つの数の意味を確認しながら、比べることができました。

大型モニターでAさんの数直線図と式を共有



※児童の思考力や表現力を高めるコツは、日頃から図や表をかくて説明させる場を設定することです。

この問い掛けで、Aさんは、左のモニターのように、弟について数直線図に赤矢印を付けながら説明をしました。続けてえみさんについては、他の児童に説明をさせていました。前時までの学習の「米の収穫量」や「人口密度」の学習ともつながり、単位量あたりの大きさと比べる必要感が高まりました。